

# D I A M世界6資産バランスファンド

## <愛称：フルコース>

追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、実質的に国内外の株式、債券および不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年5月10日～2022年11月8日

第93期	決算日：2022年7月8日	
第94期	決算日：2022年9月8日	
第95期	償還日：2022年11月8日	
償還日 (2022年11月8日)	償還価額	10,712.62円
	純資産総額	984百万円
第93期～ 第95期	騰落率	△1.0%
	分配金合計	50円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

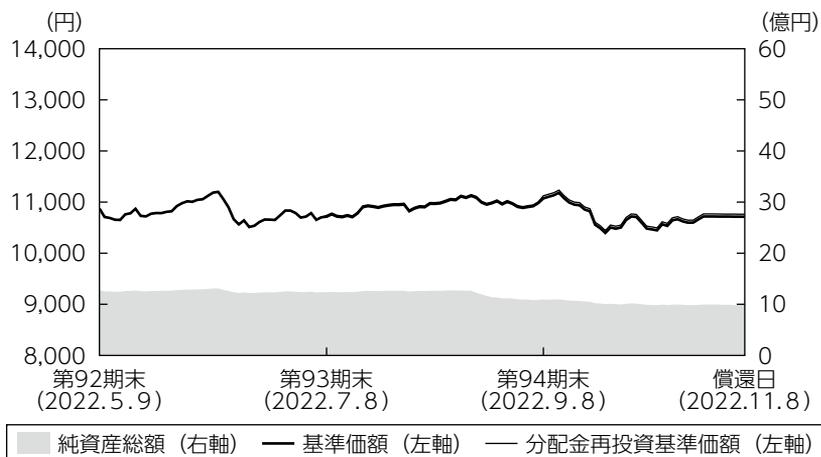
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第93期首： 10,875円  
 償還日： 10,712.62円  
 (既払分配金50円)  
 騰落率：  $\Delta 1.0\%$   
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期は、高インフレへの懸念や、インフレ抑制を目的とした主要国の金融引き締め加速観測等から主要国の金利が上昇（債券価格は下落）したこと、また主要国の金利の上昇や金融引き締めに対する懸念から米国の株式市場や外国のリート市場が下落したこと等がマイナスに寄与しました。一方、国内外の金融政策の方向性の違いが意識されたことや内外金利差の拡大等を背景に主要通貨に対して円安が進んだこと、円安等を背景に国内株式市場が上昇したこと等がプラスに寄与しましたが、基準価額は前作成期末比で下落しました。

また、当ファンドの基準価額は設定来で55.8%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金3,200円）。

設定来では、世界金融危機や欧州債務危機等を背景に株式市場が大きく下落し、また為替市場で円高が進んだことで基準価額が大きく下落する場面が見られたものの、その後は主要中央銀行による金融緩和政策に支えられた世界景気回復等を背景に国内外の株式市場やリート市場が上昇したことや、主要中央銀行による金融緩和政策等を背景に世界的に長期金利が低下（債券価格は上昇）したこと等から、組み入れている全ての資産が上昇し、基準価額は上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内債券アクティブ・マザーファンド	△2.1%
高金利ソブリン・マザーファンド	4.3%
ジャパン・セレクション・マザーファンド	1.5%
D I A M世界好配当株オープン・マザーファンド	5.4%
J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド	△3.9%
D I A M US・リート・オープン・マザーファンド	△8.1%
D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド	△9.0%

(注) 組入ファンドの騰落率は、当ファンドが保有していた期間（国内債券アクティブ・マザーファンドおよびJ-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンドは2022年10月25日、その他のマザーファンドは2022年10月26日）までの騰落率です。

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第93期～第95期		項目の概要
	(2022年5月10日～2022年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	85円	0.786%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,809円です。
(投信会社)	(32)	(0.300)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(49)	(0.452)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 4)	(0.033)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.008	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 1)	(0.006)	
(投資証券)	( 0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	1	0.011	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.009)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	87	0.806	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

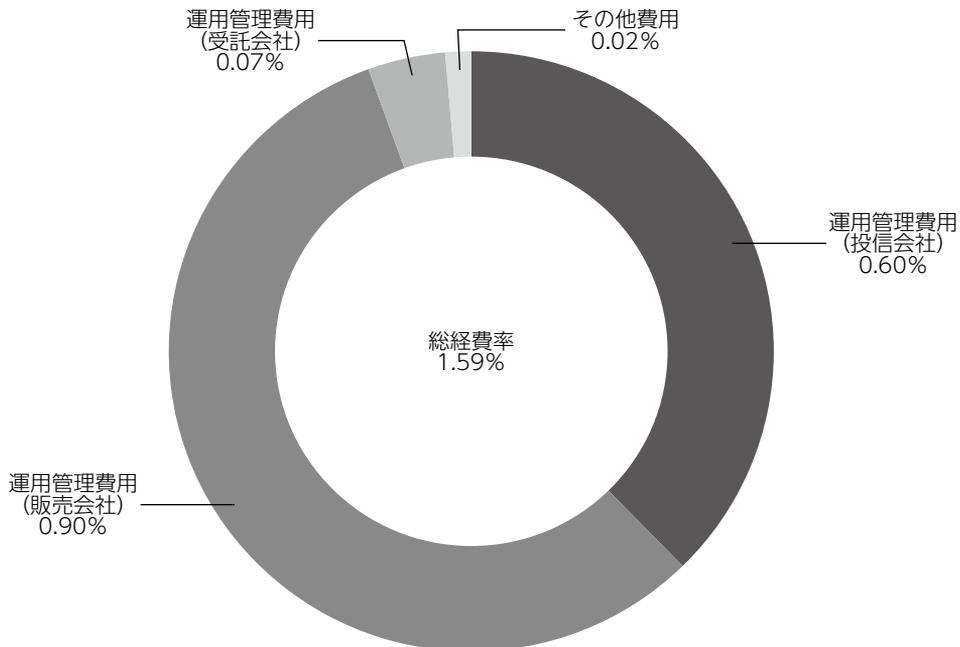
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.59%です。



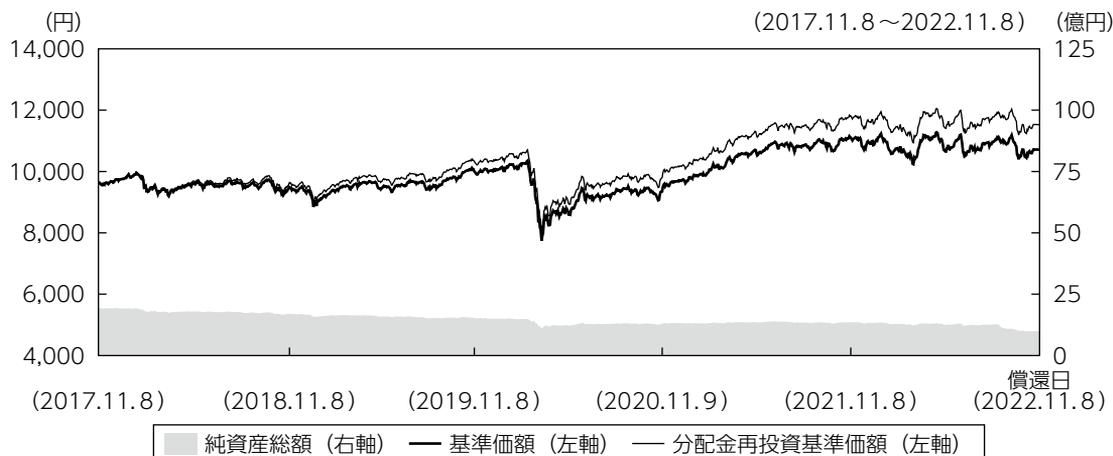
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2017年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2017年11月8日 期首	2018年11月8日 決算日	2019年11月8日 決算日	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	9,628	9,489	10,005	9,351	11,104	(償還価額) 10,712.62
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	150	150	150	150	125
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	0.1	7.1	△5.0	20.4	△2.4
純資産総額 (百万円)	1,941	1,704	1,530	1,288	1,357	984

(注) 当ファンドは、国内外の株式、債券および不動産投資信託証券（リート）に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用しております。上記資産を組み合わせた適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 設定来の投資環境

国内債券市場では、当ファンド設定の2006年以降、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災等を背景に日本経済が長期低迷に陥る中、設定時に1.8%台にあった長期金利（10年国債利回り）は一貫して低下し、2016年には△0.30%まで低下する局面もありました。しかしその後、2019年に発生した新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大や2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻を背景に世界的にインフレ圧力が高まる中で足元では0.25%程度まで上昇するに至りました。

外国債券市場では2008年の金融危機を受けて、主要中央銀行が政策金利の引き下げや量的緩和策を導入したことなどを背景に投資国の国債利回りは低下基調（価格は上昇）が続きました。しかし2021年以降は、新型コロナウイルス禍からの経済回復局面で商品や労働力の供給不足から各国でインフレが高進したことを背景に、主要中央銀行が積極的な利上げなど金融引き締めを進めた結果、利回りは上昇（価格は下落）に転じました。

国内株式市場では設定日以降、米国のサブプライムローン（信用力の低い個人向けの住宅ローン）問題を発端として世界的に金融不安が広がり、リーマンショックや欧州債務問題などの悪材料が続く中、長らく調整局面が続きましたが、2012年12月の第2次安倍政権誕生以降は、いわゆるアベノミクスにより企業業績が回復し、上昇基調となりました。2020年初めに新型コロナウイルスの感染拡大から一時的に急落しましたが、主要国の金融緩和継続や景気回復期待などから再び大きく上昇しました。

外国株式市場は設定来で上昇しました。世界金融危機や欧州債務危機、新型コロナウイルスの感染拡大などにより下落する局面も見られましたが、世界経済や企業業績の長期的な成長に支えられて上昇しました。

国内リート市場は設定来で上昇しました。2007年半ばから2009年前半にかけては、世界的な金融危機を背景に軟調に推移しました。しかし、その後は緩和的な金融環境が継続したことに加え、不動産ファンダメンタルズが改善を示したことなどから、2019年末にかけて上昇傾向を継続しました。2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大や米国長期金利の動向などに左右され、揉み合いでの推移となりました。

米国リート市場は上昇しました。設定時からリーマンショックにかけては大きく下落しましたが、その後のF R B（米連邦準備理事会）による持続的な低金利政策のもとで米国の景気は堅調に推移し、米国リートは上昇しました。2022年になるとF R Bによる継続的な利上げが行われたことなどから、先行き不透明感が高まり上げ幅を縮小しました。

米国以外の海外リート市場は、概ね上昇しました。設定時からリーマンショックにかけては大きく下落しましたが、その後の各国中央銀行の緩和的な金融政策などが追い風となり、堅調に推移しました。2022年になると各国中央銀行による継続的な利上げが行われたことなどから、先行き不透明感が高まり上げ幅を縮小しました。

為替市場ではまちまちの動きとなりました。ドル/円相場は、世界金融危機や欧州債務危機など金融不安が継続する中で、米国の長期金利低下による内外金利差縮小等を背景に大きく円高が進みました。その後は、日銀による大規模な量的緩和政策や世界景気回復に伴い円は反落し、2022年に入ると米国の金融政策の正常化が進む中で主要通貨に対して急速にドル高が進み、対円でも急速に円安ドル高が進みました。一方ユーロは、欧州債務問題やイギリスのEU（欧州連合）離脱等を背景にユーロ安が進み、対円でもユーロ安となりました。

## 設定来のポートフォリオについて

### ●当ファンド

マザーファンドを通じて国内外の株式、債券およびリートの6資産に投資を行いました。また、組入れる6資産の保有比率が均等となるように資産配分を行いました。

### ●国内債券アクティブ・マザーファンド

デュレーション<sup>\*</sup>・イールドカーブ戦略とクレジット戦略の両戦略を超過収益の源泉としてきました。リーマンショックが発生した2008年度はクレジット戦略で大きなマイナスとなりましたが、2009年度以降は両戦略から着実に超過収益を獲得し、設定来でベンチマークに対して超過収益を獲得することができました。

<sup>\*</sup>金利変動に対する債券価格の変動性。

### ●高金利ソブリン・マザーファンド

一定程度の信用格付けを有する国の中から、債券および為替市場の流動性、投資規制、市場規模等を勘案した上で、相対的に高い金利水準の通貨を選定して組入れました。組入通貨は定期的に見直しを実施したほか、信用格付けの引き下げに際して変更を行いました。選定した通貨の運用については、分散投資を基本に、足元の投資国のファンダメンタルズや市場のリスク選好度などを考慮し、一定の範囲で各通貨の投資比率の調整を実施しました。

### ●ジャパン・セレクション・マザーファンド

銘柄選択については、個別企業の競争力や成長性といったファンダメンタルズと株価バリュエーションを総合的に判断して銘柄を選別しました。マクロ調査分析（経済・金融・政策など）による大局的な相場局面判断を重視して、物色動向の変化に対応するための機動的な個別銘柄の入れ替えやウェイト調整も実施しました（トップダウンアプローチ）。株式の組入比率は原則として高位を維持しました。

### ●D I AM世界好配当株オープン・マザーファンド

銘柄選択においては、「地域の分散」、「業種の分散」に着目し、世界の好配当株への投資を通じて、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり利益の確保をめざした運用を行いました。

● J-R E I Tオープン・アクティブ・マザーファンド

相対的に割安な銘柄や業績安定感がある銘柄を中心に運用を行いました。

● D I A M U S・リート・オープン・マザーファンド

適正価格に到達したと見られる銘柄については、適宜入れ替えを行いました。また、米国景気の先行きや米長期金利の動向も注視しつつ、保守的な財務体質かつ長期的に見て成長見込みがある銘柄や、割安な水準にある銘柄を選別して投資しました。設定来では、通信タワーやトランクルーム関連などのその他、住居施設などの組入比率を引き上げた一方、オフィスや小売りなどの組入比率を引き下げました。

● D I A M インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド

保守的な財務体質かつ配当成長の見込めるキャッシュフローの安定した銘柄を選別して投資を行いました。また、適正価格に到達した銘柄は適宜入れ替えを行いました。設定来では、地域別では、カナダなどの組入比率を引き上げた一方、オーストラリアなどの組入比率を引き下げました。また、セクター別では、工業などの組入比率を引き上げた一方、小売りなどの組入比率を引き下げました。

## 分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第93期	第94期
	2022年5月10日 ~2022年7月8日	2022年7月9日 ~2022年9月8日
当期分配金（税引前）	25円	25円
対基準価額比率	0.23%	0.23%
当期の収益	16円	25円
当期の収益以外	8円	-円
翌期繰越分配対象額	1,175円	1,190円

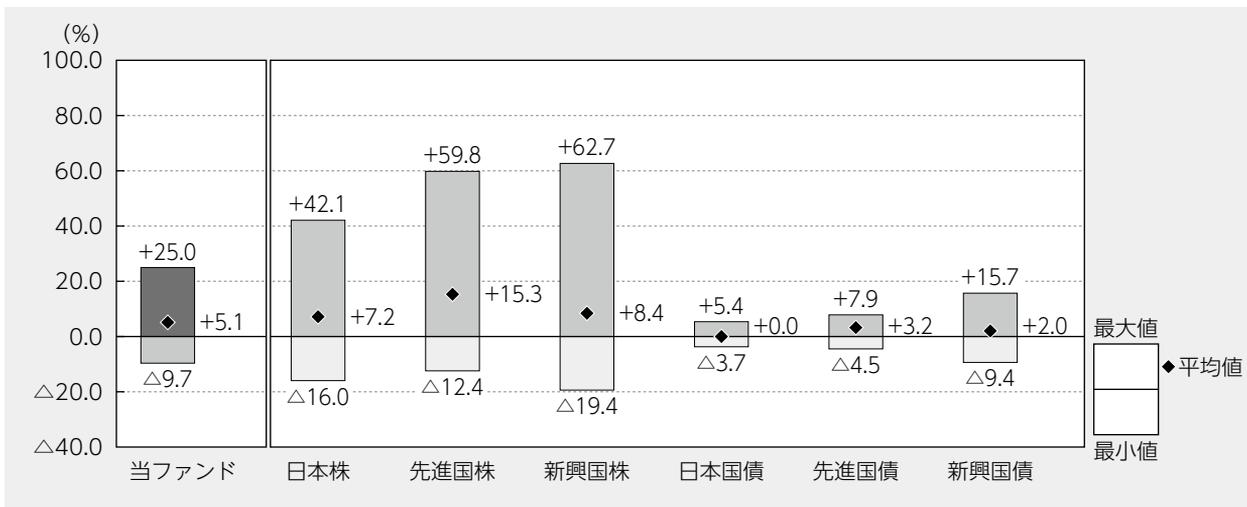
- (注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。
- (注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。
- (注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年12月15日から2022年11月8日（当初無期限）までです。	
運用方針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に国内外の株式、債券および不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。	
主要投資対象	D I A M世界6資産 バランスファンド	以下の各マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券アクティブ・ マザーファンド	国債、国内企業の発行による普通社債、転換社債等を主要投資対象とします。
	高金利ソブリン・ マザーファンド	高金利国のソブリン債券を主要投資対象とします。
	ジャパン・セレクト マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	D I A M世界好配当株 オープン・マザーファンド	日本を除く世界各国の株式を主要投資対象とします。
	J-R E I Tオープン・ アクティブ・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証R E I T指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M U S・リート・ オープン・マザーファンド	米国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
	D I A M インターナショナル・ リート・インカム・ オープン・マザーファンド	米国および日本を除く世界各国の証券取引所に上場もしくは上場に準ずる不動産投信等の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	<p>各マザーファンド受益証券への投資を通じ、国内外の株式、債券、不動産投資信託証券の計6資産への分散投資を行います。</p> <p>各マザーファンド受益証券の組入比率については、均等割合を基本資産配分比率として投資します。ただし、国外の不動産投資信託証券へ投資するマザーファンドについては、各マザーファンドの純資産総額を合算して資産配分を算出します。</p> <p>各マザーファンド受益証券の時価の変動等により各マザーファンドの純資産総額が基本資産配分比率から一定量以上乖離した場合には、各マザーファンド受益証券への投資割合を基本資産配分比率に近づけることとします。</p> <p>外貨建資産については、原則として対円で為替ヘッジは行いません。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として、奇数月の各8日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の利子、配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。原則として、利子、配当等収益を中心に安定した分配を行い、売買益（評価益を含みます。）等については決算時の基準価額水準を勘案して分配を行うことをめざします。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年11月～2022年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

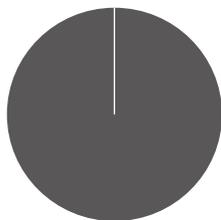
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年11月8日現在）

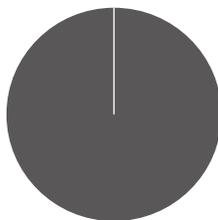
当ファンドに組入れておりました親投資信託受益証券は作成中に全て解約いたしました。

#### ◆資産別配分



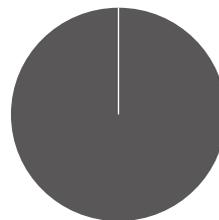
その他  
100.0%

#### ◆国別配分



その他  
100.0%

#### ◆通貨別配分



その他  
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

### 純資産等

項目	第93期末	第94期末	償還時
	2022年7月8日	2022年9月8日	2022年11月8日
純資産総額	1,238,474,089円	1,095,620,836円	984,334,969円
受益権総口数	1,155,947,698口	989,550,867口	918,855,685口
1万口当たり基準（償還）価額	10,714円	11,072円	10,712.62円

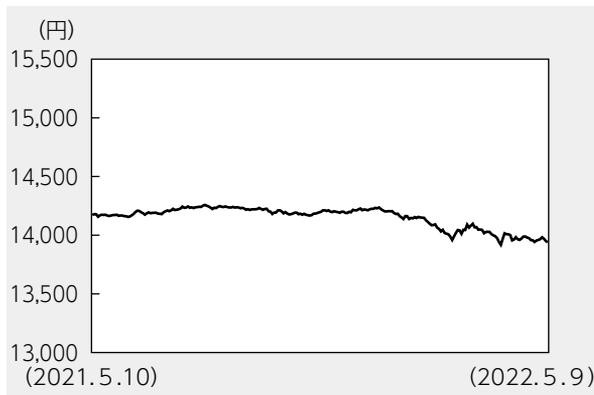
(注) 第93期～償還時における追加設定元本額は1,188,369円、同解約元本額は253,699,068円です。

## 組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【国内債券アクティブ・マザーファンド】（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

### ◆基準価額の推移



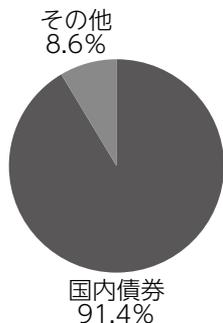
### ◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
432回 利付国庫債券（2年）	日本・円	9.0%
72回 利付国庫債券（30年）	日本・円	6.5
428回 利付国庫債券（2年）	日本・円	6.4
149回 利付国庫債券（5年）	日本・円	6.4
73回 三菱UFJリース社債	日本・円	6.4
365回 利付国庫債券（10年）	日本・円	6.3
364回 利付国庫債券（10年）	日本・円	6.0
154回 利付国庫債券（20年）	日本・円	5.6
142回 利付国庫債券（5年）	日本・円	4.5
140回 利付国庫債券（20年）	日本・円	4.4
組入銘柄数	34銘柄	

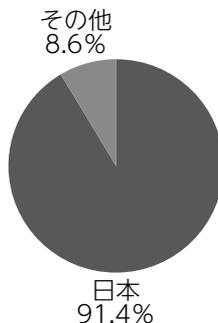
### ◆1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

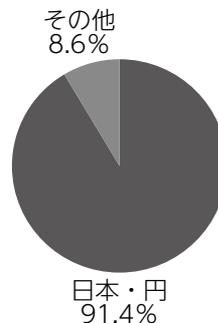
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



（注1）基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

（注2）組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

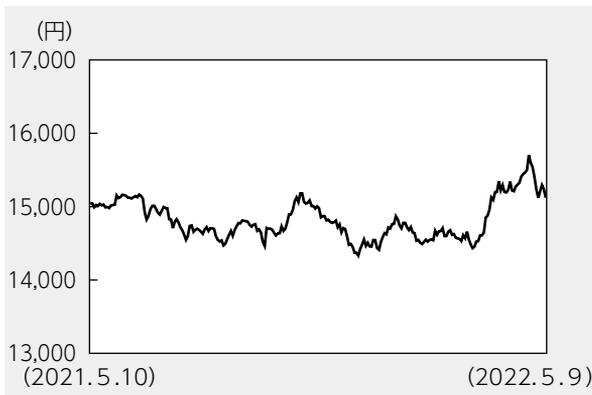
（注3）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注4）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注5）計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【高金利ソブリン・マザーファンド】（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

◆基準価額の推移



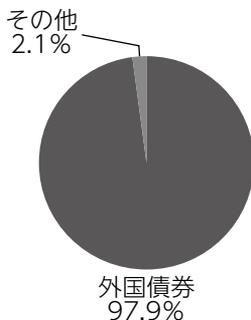
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	8.8%
UK TREASURY 4.25 12/07/27	イギリス・ポンド	6.4
US T N/B 0.375 01/31/26	アメリカ・ドル	5.9
CANADA 1.0 06/01/27	カナダ・ドル	5.8
MALAYSIA 3.906 07/15/26	マレーシア・リンギット	5.7
NEW ZEALAND 4.5 04/15/27	ニュージーランド・ドル	5.7
THAILAND 2.125 12/17/26	タイ・バーツ	5.1
NORWAY 1.5 02/19/26	ノルウェー・クローネ	5.1
SINGAPORE 2.625 05/01/28	シンガポール・ドル	4.6
POLAND 2.5 07/25/26	ポーランド・ズロチ	4.5
組入銘柄数	24銘柄	

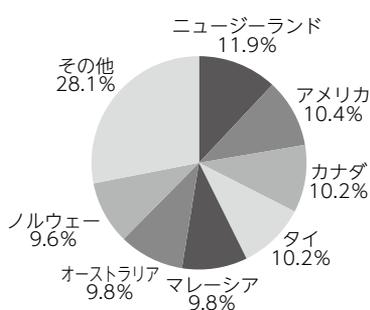
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	9円 (9) (0)	0.060% (0.060) (0.000)
合計	9	0.060
期中の平均基準価額は14,821円です。		

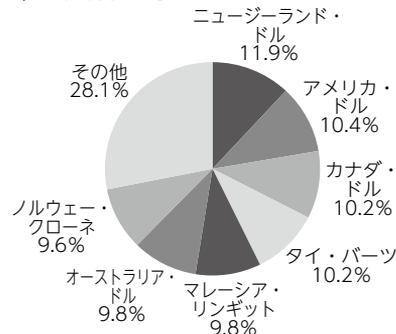
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

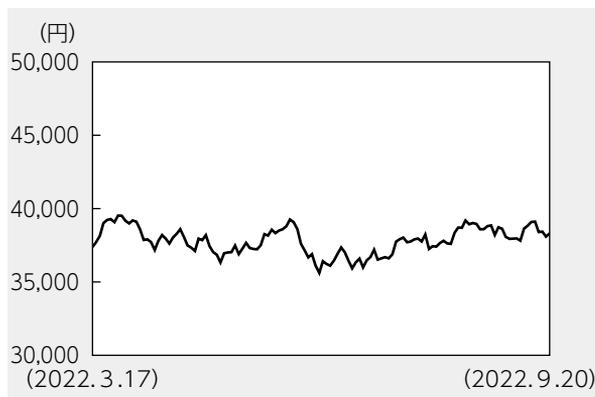
(注6) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【ジャパン・セレクション・マザーファンド】（計算期間 2022年3月18日～2022年9月20日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

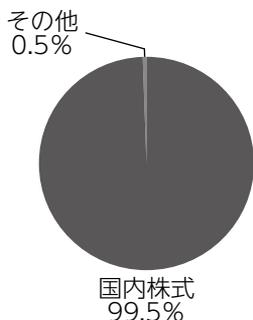
銘柄名	通貨	比率
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	3.8%
トヨタ自動車	日本・円	3.3
日立製作所	日本・円	3.2
日本電信電話	日本・円	3.1
ソニーグループ	日本・円	2.6
J S R	日本・円	2.6
中外製薬	日本・円	2.3
キーエンス	日本・円	2.3
第一三共	日本・円	2.1
東京海上ホールディングス	日本・円	2.0
組入銘柄数	95銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

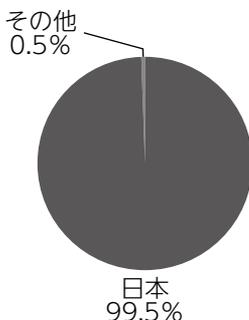
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	11円 (11)	0.028% (0.028)
合計	11	0.028

期中の平均基準価額は37,819円です。

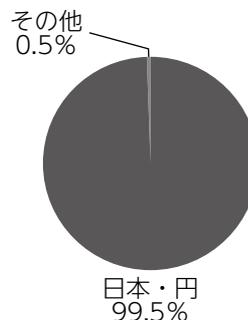
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

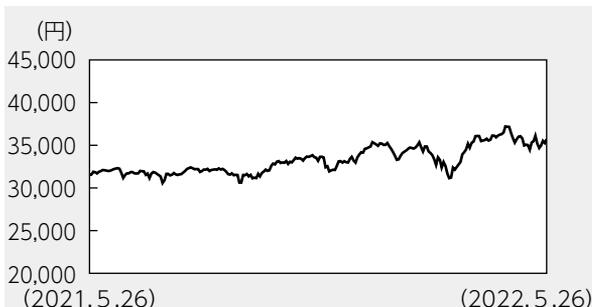
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[DIAM世界好配当株オープン・マザーファンド]

(計算期間 2021年5月27日～2022年5月26日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

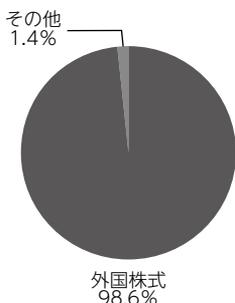
銘柄名	通貨	比率
MCDONALD'S CORPORATION	アメリカ・ドル	3.6%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	3.2
METLIFE INC	アメリカ・ドル	2.9
MERCK & CO.INC.	アメリカ・ドル	2.8
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.7
NOVARTIS AG-REG SHS	スイス・フラン	2.4
CHEVRON CORP	アメリカ・ドル	2.4
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	2.3
GSK PLC	イギリス・ポンド	2.2
DEUTSCHE TELEKOM AG-REG	ユーロ	2.2
組入銘柄数	82銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

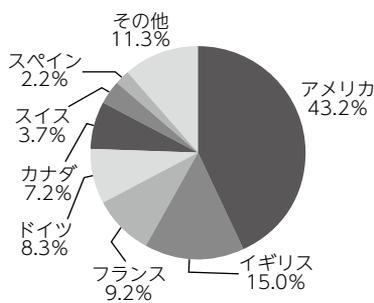
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	13円 (13)	0.038% (0.038)
(b) 有価証券取引税 (株式)	9 ( 9)	0.026 (0.026)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 ( 6) ( 0)	0.019 (0.018) (0.001)
合計	28	0.084

期中の平均基準価額は33,264円です。

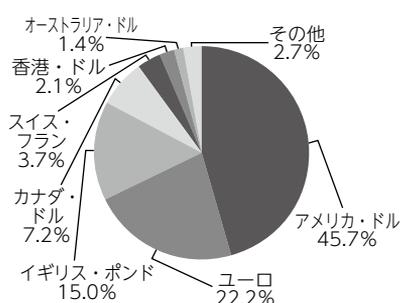
◆資産別配分



◆国別配分



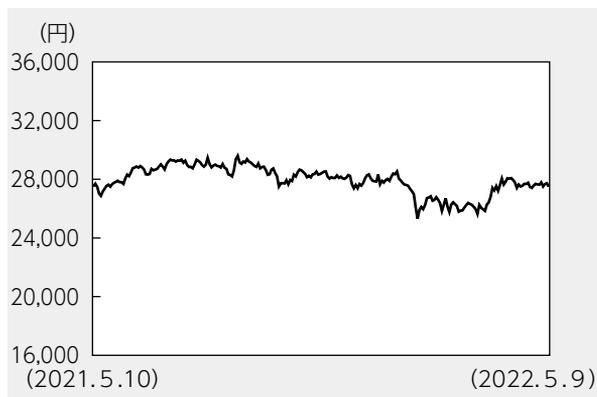
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【J-REITオープン・アクティブ・マザーファンド】 (計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

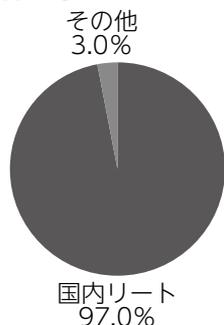
銘柄名	通貨	比率
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	7.0%
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	5.9
GLP投資法人	日本・円	5.5
日本ビルファンド投資法人	日本・円	5.3
日本都市ファンド投資法人	日本・円	4.3
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	4.1
大和ハウスリート投資法人	日本・円	3.9
オリックス不動産投資法人	日本・円	3.1
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.0
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	3.0
組入銘柄数	52銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

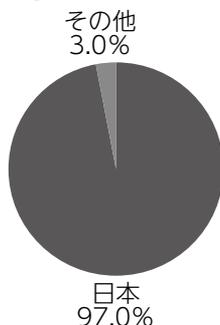
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	2円 (2)	0.007% (0.007)
合計	2	0.007

期中の平均基準価額は27,923円です。

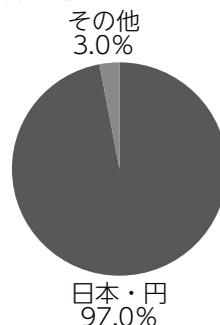
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

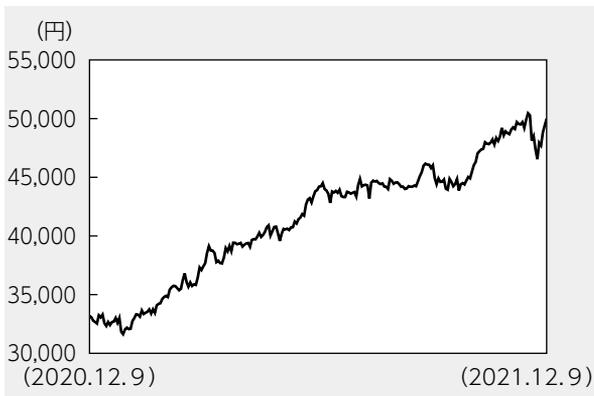
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【DIAM US・リート・オープン・マザーファンド】

(計算期間 2020年12月10日～2021年12月9日)

◆基準価額の推移



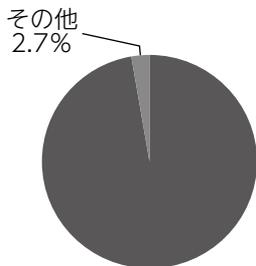
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	7.4%
AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES	アメリカ・ドル	4.0
TERRENO REALTY CORP	アメリカ・ドル	4.0
AMERICAN TOWER CORP	アメリカ・ドル	3.9
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	3.9
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	3.8
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	3.6
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	3.5
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	3.4
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.4
組入銘柄数	42銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

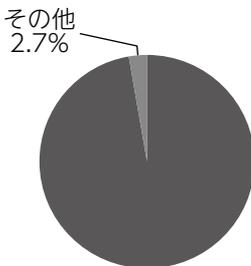
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	14円 (14)	0.033% (0.033)
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	5 (4) (1)	0.013 (0.011) (0.002)
合計	19	0.046
期中の平均基準価額は41,422円です。		

◆資産別配分



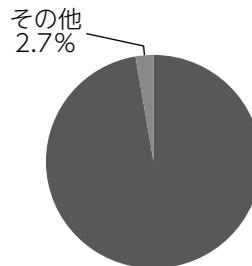
外国リート  
97.3%

◆国別配分



アメリカ  
97.3%

◆通貨別配分



アメリカ・ドル  
97.3%

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

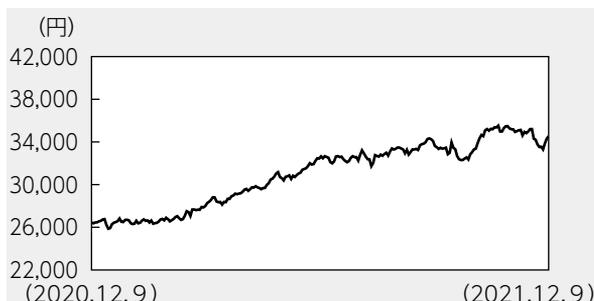
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[DIAM インターナショナル・リート・インカム・オープン・マザーファンド] (計算期間 2020年12月10日~2021年12月9日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

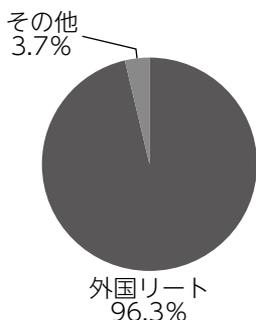
銘柄名	通貨	比率
WAREHOUSES DE PAUW	ユーロ	8.7%
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTRALIA	オーストラリア・ドル	7.5
SEGRO PLC	イギリス・ポンド	6.0
GOODMAN PROPERTY TRUST	ニュージーランド・ドル	5.6
KILLAM APARTMENT REAL ESTATE INVESTMENT TRUST	カナダ・ドル	5.5
CANADIAN APT PPTYS REIT	カナダ・ドル	4.5
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	3.9
RIOCAN REAL ESTATE INVEST TRUST	カナダ・ドル	3.7
NATIONAL STORAGE REIT	オーストラリア・ドル	3.6
ALSTRIA OFFICE REIT-AG	ユーロ	3.5
組入銘柄数	32銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

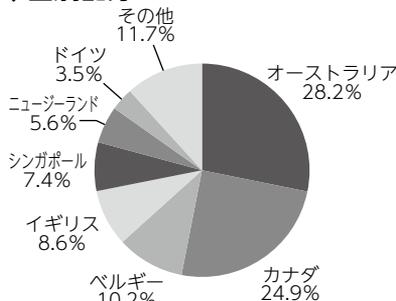
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	3円 (1) (2)	0.011% (0.004) (0.007)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	2 (0) (2)	0.006 (0.001) (0.006)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	6 (6) (1)	0.021 (0.018) (0.003)
合計	12	0.038

期中の平均基準価額は30,977円です。

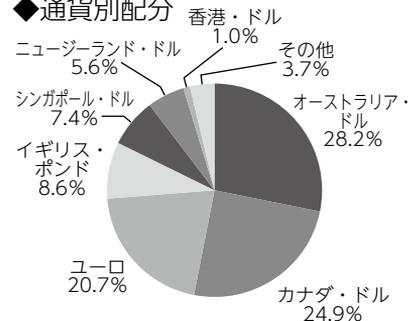
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。